

三中だより

令和元年度 6月号 臨時増刊号



令和元年6月11日発行
荒川区立第三中学校
(学校通信 No. 4)

作成者 校長 清水隆彦

協議する学びの重要性

校長 清水隆彦

本校ではこの4年間、授業改善に向けた研究を進めています。令和2年2月7日には全国から先生方をお招きしてその成果を発表する予定です。これまでの一般的な授業は教師が一方的に指導し、生徒はそれを記録し覚えるという形が多く見られました。生徒の側から見れば受動的な授業であったと表現できます。現在改革が予定されている大学入試では、社会で求められる様々な能力をいかに身につけているのかを試験で調査することが検討されています。

本校では、授業で生徒同士がコミュニケーションを図り、協働で作業を進めながら学び合うことの効果について研究を進めています。2人以上で考えたり、問題を解いたりすることで、自分の考えを見直すチャンスが増えることや相手の解を少し広い視野から見直せる等の効果が期待できます。研究成果の詳細につきましては別の機会にお知らせいたしますが、三中での学びは生徒自身が働きかける学びで、能動的な学びと表現することができると思います。つまりアクティブ・ラーニングとなります。

話は変わりますが、6月1日に行われた運動会、6月12日から行われた3年生の修学旅行等は、ともに実行委員の生徒が中心となり、様々と協議しながら一つの答えを探し実践に結びつけていきます。最初から答えを与えるのではなく、生徒間での成功に向けた話し合いを重視していきます。運動会で役割を分担し、やり終えた達成感、生徒1人1人を大きく成長させます。今年も見事だった運動会の応援団では、他の色に負けない演技を創り上げようと生徒同士で悩み、焦りながら声を枯らして集団をまとめました。運動会が近づくと朝練習にも張り詰めた空気が漂い始めます。優勝に向けて意識が高まり必死に取り組もうとする姿勢が見られます。感動的な運動会を終えた生徒の姿には、全力を尽くしたことで自信をもち、次に向けて頑張ろうとする意欲の高まりを感じます。

このことは3年生の修学旅行においても同様です。実行委員を中心に自分たちが創り上げる修学旅行のために全員で考え努力した準備期間でした。行事が単なるイベントの消化ではなく、生徒が協議しながら学ぶ場としてしっかりと位置づけることができたここ数週間でした。

全力を出し切った運動会終わる(6/1)

運動会の天候は、快晴過ぎると熱中症の心配、雨でも心配と複雑ですが、幸いやや雲のある快晴で隅田川の風が心地よく吹き抜ける絶好のコンディションで開催することができました。

運動会に向けた練習では、入場行進と全校体操の2つが運動会の成功を8割決めると話しました。とにかく気持ちは順位のつく競技種目に重点を置きがちですが、この3つがきちんとできてこそ運動会は成功と言えるからです。

運動会当日、最初の入場行進は膝を高く上げ地面に足音が響き運動会にかける意欲が強く伝わってきました。開始の入場行進が会場の空気を一変したことは多くの皆様が感じられたことと思います。また、一つ目の種目である「全校体操」では、大切な種目として長い時間かけて練習した成果が出て、指先まで神経を使いしっかり伸ばした手先が揃った景色は壮観でした。全校生徒によるマ스ゲームのようでした。

開会式では、「力強さと格好良さを追求しよう。力強さとは全種目に真剣に取り組むことであり、格好良さとは順位にかかわらず最後まで全力でゴールを駆け抜けることである」と生徒に向け話しました。区内最大の生徒数の中学校として一人一人が全力を尽くし、大変見応えのある運動会となりました。

応援合戦は、各団の3年生の団長を中心にこの日まで積み上げてきた演技を声を枯らして行い、どの団も甲乙付けがたい見事な発表となりました。女子団体の「三中ソーラン・3年オリジナルダンス」は、構えの姿勢は地面に限りなく近く、気合いの入った表情、指先の動きを意識した姿に会場全体が息をのみました。3年生単独のオリジナルダンスは当日の朝まで続け



【足音が響いた入場行進】



【全校体操こそが最大の見せ場】

た練習の成果を発揮し、完成度の高いものとなりました。会場全体が息を飲み演技を見守りました。

男子団体のマスゲームでは、短期間でしたが練習を重ね、全員が協力したからこそまとまった見事なマスゲームを披露しました。3年生の旗を使った演技では、華麗さと力強さの両面が見られ、たくましく育った3年生の姿が印象的でした。ご来賓、地域、保護者の皆様とともに胸が熱くなる瞬間でした。

当日の会場整備、受付、パトロール等、多くのPTA役員、保護者、「親父の会」の皆様にご大変お世話になりました。運動会に関わっていただいた全ての皆様に改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

※感動的な運動会の写真は、校舎内にも一部展示させていただきます。



【足並み揃う入場行進】



【力強い選手宣誓 杉本君・遊佐さん】



【緊迫したバトンパス】



【アトラクションレース】



【力強いパワーリレー】



【ゴール手前は大声援】



【力強く、華麗なソーラン】



【一糸乱れぬマスゲーム】



【声を枯らした応援合戦】

運動会を終えて

体育行事委員会委員長 教諭 上石 知樹

今年度も本校運動会の実施にあたり、保護者の皆様、地域の皆様より多大なご支援をいただき、誠にありがとうございました。多くの皆様のご協力のおかげで、無事に運動会を終えることができました。

今年度は大型連休や宿泊行事との兼ね合いもあり、練習期間が例年よりも短かったのですが、運動会実行委員会をはじめ、生徒1人1人が一生懸命に努力を積み重ねて参りました。本番でも第三中学校の特徴でもある「結果だけにこだわらず、何事にも全力で取り組む姿」や「クラスや学年の枠を超え、仲間を全力で応援する姿」がたくさん詰まった運動会となりました。皆様にも生徒たちの本気が伝わっていれば大変嬉しく思います。

運動会は終わってしまいましたが、ここで得た経験や学び、そして仲間との絆を次へと繋げていかなくはなりません。今後の学校生活でも、「運動会のように」生徒たちの本気が様々な場面で発揮されることを期待しています。これからも生徒たちの一生懸命な姿を支え、応援していきたいと思っております。



【工夫した学年種目】



【青春をかけたムカデリレー】



【感動の表彰式】

【運動会結果】 (学年対抗) 3年優勝 A組、準優勝 C組 応援優勝 黄団 (各学年C組)
 2年優勝 B組、準優勝 A組
 1年優勝 B組、準優勝 E組

※よく頑張りました。

今年度も運動会予行練習を公開練習日に (5/29)

本校では、運動会予行練習を公開練習と位置づけ、地域、保護者の皆様に毎年多数ご覧いただいています。朝礼台横にテントを2つ張り、特等席でご見学いただきました。

公開練習日当日は、100名を超える多くの皆様にご来校いただき、運動会予行練習の様子を楽しんでいただきました。特に男子マスゲーム、女子のソーランでは、本番さながらにビデオを構える保護者の皆様の列ができ印象的でした。

「練習こそ本番のように」という気持ちが重要です。皆様にご見学いただいたことで生徒の気持ちも引き締まったと思います。ありがとうございました。



「令和元年度荒川区総合水防訓練で防災部活躍 (5/25)」

5月25日(土)に「令和元年度総合防災訓練」が都立汐入公園多目的広場で行われました。本校から防災部10名が参加し、区内の消防署や消防団の皆様とともに水防訓練に取り組みました。当日は、土のう積みやバケツリレー、模擬排水溝の清掃、D級ポンプによる排水活動と様々な訓練に参加しました。三中防災部が消防署、消防団、企業、町会の皆様方と本格的な訓練に参加し、台風や集中豪雨に対する水防態勢の技術を身につけたこの訓練は貴重な学習の機会となりました。



【土のう・バケツリレー】



【見事土のう完成、全員集合】



【D級ポンプで放水】



【放水を見守る】



【排水溝清掃】



【参加者整列】

「令和元年例大祭、胡録神社」の中御輿で三中生活躍（6/2）

6月2日（日）に胡録神社で行われた中御輿の担ぎ手として本校から約20名の生徒が参加しました。地域の皆様と一緒に息を合わせ地域を巡りました。



令和元年度「三中てらこや」順調に進行中（5/14～）

4月19日の「三中てらこや」保護者説明会を受け、早速5月14日より「英語」の「三中てらこや」を開始しました。英語、数学の第1回目は、それぞれ開校式を行い、「三中てらこや」に向けた心構えやルールを確認しました。校長からは、限られた時間の中で最大の成果を出せるように努力しようと話しました。また、学ぶ場が提供されることを当たり前と思わず、協力して下さる多くの人に感謝の気持ちを持ち学習に取り組んでほしいとも話しました。開会式後すぐに英語のプリント学習コース、英語検定受検コースに分かれ早速授業が始まりました。

「三中てらこや」は、本年度で13年目となりますが、大学生や保護者の皆様の力をお借りして各種検定の確実な伸び、各種学力向上調査でも結果が出せるように毎回の小さな積み重ねを大切にしていきたいと思えます。



【真剣な表情の開校式】



【講師挨拶】



【早速授業開始】



【一つ一つ積み上げる】



【検定コースで頑張る】



【保護者の皆様のサポート】

各種検定も始まっています。積極的に受検しましょう

すでにお知らせしているところですが、本校では英語検定、数学検定、漢字検定を各学期ごと計9回実施しています。最近では高校入試の際ポイントとして扱われる場合があり、各検定試験の級を一つでも獲得しておく事が重要となります。また、級の合否に関わらず、検定に向かう過程で学びに向かう姿勢が重要なのだと思います。例え不合格であっても自分の現在の足りないところを知る機会にもなります。

【英語科、小森教諭のコメント】

6月2日（日）の英検は130名を超える受験者が集まりました。3年生を対象に荒川区の検定料補助があったことも後押しとなり、ここ数年間で最大の人気でした。準2級の受験者も24名となり、三中全体の英検に向かうレベルが上がってきたように感じられます。

【昨年度英語検定取得済実績】

英検	1年	2年	3年	合計
準1級	0	0	0	0
2級	1	0	5	6
準2級	2	5	29	36
3級	9	42	63	114
4級	29	67	48	144
5級	31	68	36	135
合計	72	182	181	435